
自分に合うことと、 自分に合わないことの 両方をした人が成功する。

「自分には、何が合うかわからない」と悩んでいる人が多いです。

「今の仕事は、自分には合わない」と、ほとんどの人が思っています。

どうしたら自分に合う仕事を見つけることができるか、誰もが考えています。

私はサラリーマンを8年間やっていました。

その8年間、私は自分にとって一番合わない仕事をやっていたことになりました。

まわり道だったのですが、通らなければならぬ道でした。

誰もがすぐ、自分に合うことをやるうとします。

でも、合わないことをやっておく時期も必要です。

自分に合うこと、本当にやりたいことを見つけるのが「自分力」です。

一方で、自分に合わないことにあえてチャレンジする力も大切な「自分力」です。ボウリング場のレーンでも、自分に合うレーンと合わないレーンがあります。

合うレーンでは、何も考えずにボウリングが楽しめます。

合わないレーンをどうこなせるかで、初心者と上級者に分かれます。

合わないことをやっても、ムダにはなりません。

合うことばかりやってきた人は、合うことをやる力もいまひとつ欠けています。

合わないことを一生懸命頑張っていると、合うことをやる時にはもつと力を発揮できず。

合わないからやめたい、合わないから頑張りたくないと考えなければよいのです。

合わないこともどんどん積極的にやるのは、「自分力」をつけるうえでとても大切なことなのです。

自分力を
高めるヒント

その①

自分には合わないことも、
やってみよう。